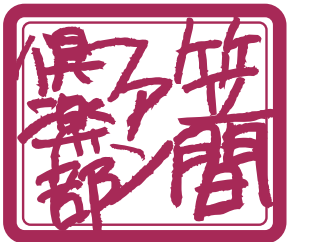


笠間ファン倶楽部通信

2009 春号

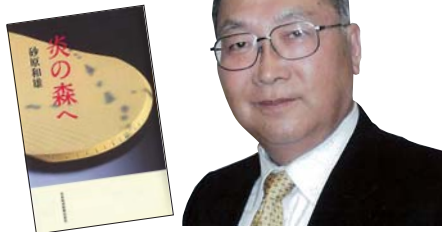
VOL.018

http://www.city.kasama.lg.jp/ss_info/fanclub/index.html



陶芸の里・笠間の魅力

文・砂原和雄（作家）



《西に傾いた春の日の茜色の稜線の向こうに静かに沈む。すると、小高い丘を取り囲む山並みは、濃い墨色に染まった。遠くにぼつんぼつんと民家の明かりが灯りだす。そして、工芸の丘は、瞬間に闇に包まれた。》
（砂原和雄著『炎の森へ』より）

これは、笠間を舞台にした小説『炎の森へ』（日本経済新聞出版社）の一節です。私は、この小説を書くためにこの1年半余りの間に8回、泊りがけで笠間へ出かけました。工芸の丘は、笠間盆地の中央に位置し、笠間稲荷神社のある市街地から少し離れています。自然林と接しており、空気が澄んで、昼間は見晴らしのいいところです。日が暮れると、瞬く間に闇に包まれ、満天に星が輝く。星空を見上げて立ち尽くしたこともありました。笠間工芸の丘付近には、素晴らしい茨城県陶芸美術館と設備の充実した県窯業指導所が

あります。陶芸美術館は、文化勲章を受賞した県内出身の板谷波山の作品をはじめ、日本を代表する陶芸家の作品が数多く展示しており、それらの作品に接することは喜びであり幸せな時間でした。

また、県窯業指導所では、ろくろに向って焼物作りの基本を熱心に学ぶ若者たちの姿に身近に接するたびに、若者たちは、いつの日か陶芸美術館の作品を超えるものを目指しているように想えたものです。

時間があるときは、丘の坂道を下って、「陶の小径」を散策し、中西一朗さんや山崎俊夫さんの店に寄り、陶芸家になるまでの苦労話を聞いたものでした。ろくろをひく山崎さんの名人芸を見たこともありました。

笠間には、20年余り前に忘れられない出来事がありました。ある日、今や笠間焼の重鎮となられた中野晃嗣さんを訪ね、陶芸にかけける夢を伺ったことがあります。そのときいただいた小ぶりの壺とぐいのみを大切に持っており、この小説を書くとき、たびたび中野晃嗣さんを思い出したものです。

小説は、47歳になる銀行マンが10年前の金融危機で自らが破綻したのを契機に、好きな陶芸を身につけ、残りの人生を「充実したものにしたい」と、東京に近い笠間に来て

窯業指導所に入る。若者たちに負けられないようにと、夜もろくに寝ないで修業する毎日。そして見事に陶芸家として独立する物語です。

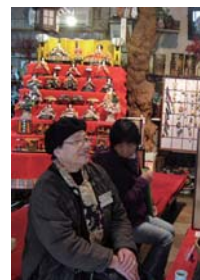
その裏には、「夢を実現させましょう」と夫を励まし、家計を補うため働きに出る妻の存在がありました。「今までのような生活は出来なくてもよい」と、覚悟しての決断でした。そして、夫婦の生活は、その日から様変わりするのです。

実は、この小説にはモデルがありました。あとがきに述べたように、書くきっかけは主人公の個展を東京のギャラリーで見たことでした。そのとき、「充実した人生とは何か」を考え、固い絆で結ばれた「夫婦愛」の姿に感動したからです。

100年に1度の経済危機に直面し、勤務先が破綻したり、突然、リストラの憂き目に遭遇することが珍しくない時代です。こんなとき、ぜひ、この小説を読み、夢と勇気を取り戻して欲しいものです。

笠間は、陶芸を修業するのに素晴らしいところでした。また、「陶芸美術館」や「日動美術館」、北大路魯山人の旧居を移築した「春風萬里荘」などがあり、散策するのにいいところです。今年も陶炎祭に出かけるのを楽しみにしています。

活動報告 ＊桃宴 見どころ案内ツアー＊



お雛さまを探せマップを片手に、笠間焼の陶器や古布の雛など、いろいろなお雛さまを探して窯元やギャラリーを散策しました。門前通りの酒蔵では肴物をリメイクしたふっしゅん抄を見学。陶の吊るし飾りワークショップなども行われました。



＊史上最長！記録更新＊

2月7日に開催された笠間初午いなり寿司まつり。笠間稲荷神社の参道にて、54.1mのそばいなり寿司巻きを完成させました！

笠間ファン倶楽部 ＊会員募集中＊

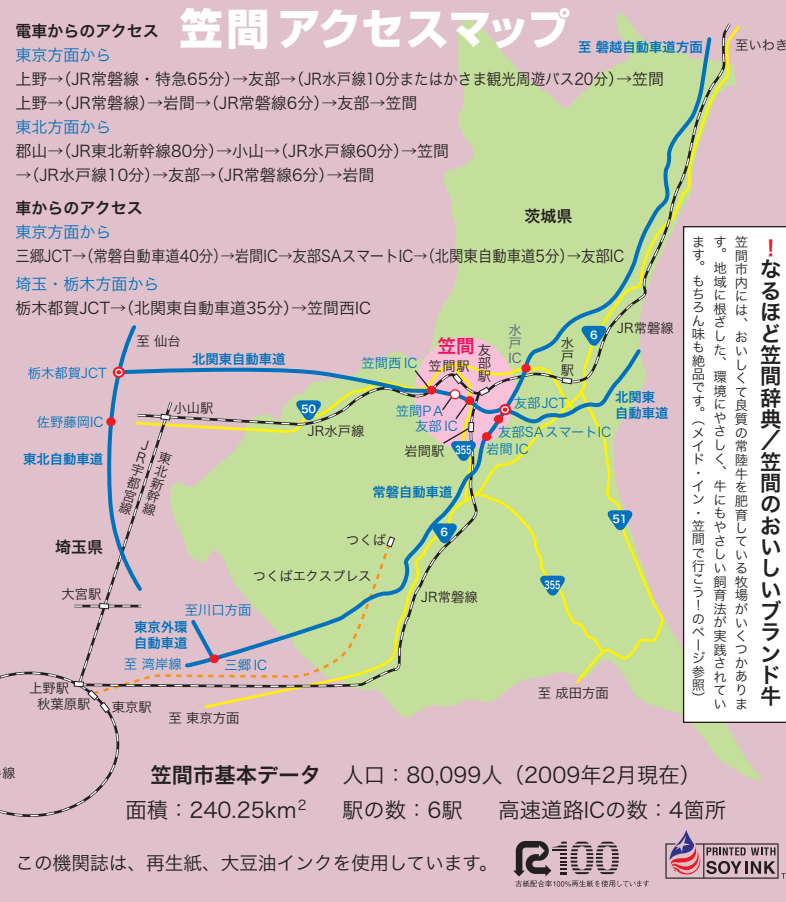
笠間ファン倶楽部は、笠間の隠れた情報を発信し、交流人（外の目）が多くの笠間人（内の目）とふれあえる場をつくる新しい仕組みです。笠間人も交流人も、互いに心の豊かさを感じられるような場にしていきたいと思っています。なお、会費は無料ですので、ぜひ皆さんお申し込み下さい。

●会員特典／レンタサイクル1日料金を半額（800～400円）、スカイロッジ宿泊料金を20％割引（土曜、祝前日、7/21～8/31の期間は除く）、本誌の発送（年4回）ほか多数！

●申込み／住所、氏名、メールアドレス、生年月日、笠間市への応援文等をご記入の上、はがき・FAX・メールのいずれかで下記へ。

申込み先／笠間市 産業経済部 商工観光課
〒309-1792 茨城県笠間市中央三丁目2番1号
TEL 0296-77-1101 FAX 0296-77-1146
E-mail kasamafan@city.kasama.ibaraki.jp

＊おねがい＊
メールの際には、タイトルに「笠間ファン」と記載してください。



Kasama

表紙の写真／（左側上から）唯信寺の枝垂桜、笠間の陶炎祭（ひまつり）会場ゲート前、安達政弘さんの牧場の常陸牛（右側）笠間つつじまつり会場

笠間再発見！

GWを満喫する 笠間の楽しみ方ガイド

笠間昔話

穴戸ふるさとカルタ

春のイベント情報

メイド・イン・笠間で行こう！

常陸牛指定生産者・安達政弘さんの牧場

FAN FAN KASAMA 我らは笠間応援団！ ほか



穴戸地区の歴史や名所旧跡に注目！ 穴戸ふるさとカルタ

地域コミュニティ団体の“まちづくり穴戸塾”によって作られた“穴戸ふるさとカルタ”には、穴戸地区の歴史や名所旧跡などが、カルタの形で分かりやすく描かれています。今回の笠間昔話は、かつての城下町、穴戸地区に注目です。

カルタの絵札・箱の絵／岩田 正、絵札制作協力／笠間市まちづくり教室「オーククラブ」、読み札／まちづくり穴戸塾「歴史・文化委員会」



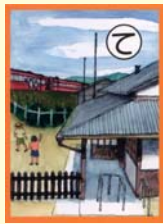
累代の
穴戸氏初代は
家政公

穴戸の初代領主は、穴戸四郎家政。鎌倉時代に八田知家の四男に生まれた。その後、穴戸氏は、約400年間この地を治めることになる。



白鳥湖
北山の四季
水に映え

白鳥湖は茨城県観光百選に選ばれた景勝地。中池、新池と周辺の山林が広大な北山公園として整備されている。四季折々の景色が楽しめる。



鉄道の
開通にわいた
穴戸駅

明治22年(1889年)、水戸線(小山～水戸)が開通。当時は太田町駅としてスタート、間もなく穴戸駅になった。絵は大正15年頃の駅舎。



穴戸城
昔を語る
稲荷の土塁

穴戸氏が城を築き、江戸時代初期に秋田氏(五万石)が本格的に築城した。その後、秋田氏は三春(福島県)へ国替え。後に松平氏が陣屋を置く。



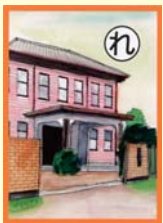
今残る
松平氏の
陣屋門

茨城県の文化財に指定された穴戸藩松平氏(一万石)の陣屋表門。明治時代初めの廃城の際に旧岩間町土師に移築、当時の面影を残している。



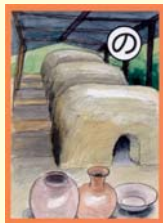
若人が
命をかけた
飛行場跡

霞ヶ浦海軍航空隊友部分遣隊(後の筑波海軍航空隊)は、昭和9年(1934年)開設。本部の建物は現在、茨城県立友部病院として使用されている。



歴史館
洋風建築の
旧役場

元々は穴戸町役場。昭和12年(1937年)に新築、昭和56年(1981年)から歴史民俗資料館になる。貴重な洋風建築で国の登録有形文化財。



登り窯
手造りのあじ
穴戸焼

寛政7年(1795年)創業の窯元が平町にある。笠間焼の源流といわれている。現在はガス窯に移行し、陶芸教室や手ひねり体験も行う。



清水寺
八十八の
石仏

清水寺は真言宗の寺院。参道に新四国八十八カ所の石仏が安置されている。霊場巡りと同じご利益があるといわれ、参拝者が多数ある。



光明寺
しだれ桜と
阿弥陀さま

光明寺は浄土宗の寺院で、大きなしだれ桜で知られている。また、宝物の木造阿弥陀三尊立像は、笠間市の文化財に指定されている。

鎌倉時代からの歴史が息づく穴戸のまち、その面影を見る。

穴戸地区は笠間市内の旧友部町の大字平町・大田町・橋爪・下加賀田・南小泉・大古山・矢野下上郷を合わせた地域で、現在のJR水戸線・穴戸駅周辺になります。鎌倉時代より城下町として栄えてきましたが、昨年12月に発行された「穴戸ふるさとカルタ」を元に、その歴史をひもといてみましょう。鎌倉時代、八田知家の四男、家政が穴戸領主になり、武家の館や城が造られるようになりました。穴戸氏(穴戸の領主を指します)は幕府の有力な御家人で、酒沼川流域一帯を領地に、約400年続きました。慶長7年(1602年)には出羽国秋田湊城主・秋田実季(さねすえ)が穴戸へ入部。穴戸藩五万石が成立します。しかし、二代目藩主・俊季(としすえ)の時に国替えがあり、一時廃藩になりますが、天和2年(1682年)

に水戸藩主・徳川頼房の七男・頼雄(よりかつ)が一萬石を拝領して松平穴戸藩が成立。これ以降、明治時代に至る十代目の松平頼位(よりたか)まで、松平家がこの地を治めました。ちなみに藩主は江戸に定住する定府制でした。こういった歴史の面影は、松平氏の陣屋門や稲荷の土塁などに、わずかに残されています。

カルタの内容を見ると、ここで紹介している歴史や寺院、名所旧跡のほかに、現代の学校、住宅団地など、幅広く取り上げられていてユニークです。なお、カルタについてのお問い合わせは、まちづくり穴戸塾 幾浦忠男 歴史・文化副委員長(tel 0296-77-6124)まで。笠間市内の図書館で閲覧が可能です。



笠間日動美術館

画家 岸田劉生の軌跡
～巨匠たちの足跡から、今、あらためて時代の潮流をふり返る
3/3(火)～4/19(日)9:30～17:00(受付は16:30まで)
三重県立美術館所蔵名品展～浅井忠から松本竣介まで
4/23(木)～6/14(日)9:30～17:00(受付は16:30まで)
休／月曜(5/4)は開館、5/7は休館)
料／大人700円、大高生500円、中小生400円、65歳以上600(春風萬里荘との共通券／大人1,100円、大高生700円、中小生500円、65歳以上900円)
問／tel 0296-72-2160
www.nichido-garo.co.jp/museum/

あたご山 桜まつり

4/1(水)～5/10(日)
愛宕山には、約2,000本の桜があり、4月上旬から染井吉野・山桜が開花し、ボタンザクラまで楽しむことができます。
場／愛宕山大駐車場
問／社団法人 笠間観光協会 tel 0296-72-9222
www.intio.or.jp/kasama/

笠間工芸の丘

宝野達哉個展 4/1(水)～4/19(日)
ガラスのジュエリー展 4/1(水)～4/19(日)
新進作家陶芸展 4/23(木)～5/31(日)
うさぎマイスター展2009 6/3(水)～6/21(日)
渡部源土作陶展 6/10(水)～6/21(日)
中村明美作陶展 6/24(水)～7/5(日)
小久保恵子作陶展 6/24(水)～7/5(日)
休／月曜(5/4)は開館、※5/7も通常通り開館いたします)
問／tel 0296-70-1313
www.kasama-crafthills.co.jp

常陸教會 出雲大社

月始祭 4/1(水) 9:00～
薬神祭 4/29(水・祝) 11:00～
月始祭 5/1(金) 9:00～
出雲大社例祭 5/14(木)
春季大祭(お土取り神事) 5/17(日) 11:00～
甲子祭 5/19(火) 8:00～
月始祭 6/1(月) 9:00～
夏越大祓祭 6/28(日) 14:00～
問／tel 0296-74-3000
www.izumotaisha.or.jp/

第8回 北山公園 桜まつり

4/4(土)～4/11(土)
※イベントは4月4日(土)・5日(日)10:00～
桜まつりの期間中は、沿道と公園内に約1,500個の提灯を飾ります。夜になると桜がライトアップされ、桜並木の沿道や新池周辺は幻想的な風景を演出しています。また、花火大会や様々なイベントが開催されます。
場／北山公園
問／社団法人 笠間観光協会 tel 0296-72-9222
www.intio.or.jp/kasama/

笠間稲荷神社

例大祭 4/9(木) 11:00～
八重の藤、大藤 例年、5月上旬に満開期を迎え境内は藤の香りでいっぱいになり、たくさんのお客様で賑わいます。
御田植祭 5/10(日) 10:00～
場／笠間稲荷神社神饌田(笠間市民体育館前)
車の茅の輪くぐり 6/28(日) 10:00～

場／公営稲荷駐車場 ※雨天決行
夏越しの大祓式(茅の輪くぐり)
6/30(火) 16:30～
場／笠間稲荷神社境内
問／笠間稲荷神社 tel 0296-73-0001
www.kasama.jp/

茨城県陶芸美術館

企画展 伊藤公象 1974～2009
4/18(土)～6/21(日)
9:30～17:00(受付は16:30まで)
休／月曜(5/4)は開館、5/7は休館)
料／一般700円、大高生500円、中小生250円
問／tel 0296-70-0011
www.tougei.museum.ibk.ed.jp/

第38回 笠間つつじまつり

4/18(土)～5/10(日) 8:00～18:00
7ヘクタールの園内には、霧島・久留米・日の出・やまつじなど、25品種約8,500株が山一面に咲き誇ります。また、会期中は野点やお囃子演奏なども開催されます。
料／大人(高校生以上)500円 ※中学生以下及び障害者の方は無料。団体(20名以上)割引有り
場／笠間つつじ公園
問／社団法人 笠間観光協会 tel 0296-72-9222
www.intio.or.jp/kasama/

JR水戸線で行く 酒蔵の新酒祭

第3回 磯蔵酒造 ちよつ蔵 新酒を祝う会
～おかげさまで今年も旨い酒ができました～
4/26(日) 昼頃～21時頃
「今年の新酒の出来上りをみんなで祝う」お祭りです。イベント／大宴会、新酒あLIVE!、お座敷では寄席、稲田の蔵市、きき酒選手権、仕込蔵見学の旅、きき酒BARちよつ蔵
料／2,000円(新酒四合瓶、笠間焼「ちよい呑み」付)
場／磯蔵酒造(JR水戸線稲田駅近く)
問／te 0296-74-2002 www.isokura.jp/

第28回 笠間の陶炎祭(ひまつり)

4/29(水・祝)～5/5(火・祝)
9:00～17:00(5/1・3は21:00まで)
陶芸家による笠間焼の展示即売。野焼ショーや土面オークション、クロー体験、キッズランドなど盛り沢山のイベントも開催されます。
場／笠間芸術の森公園イベント広場
問／笠間焼協同組合 tel 0296-73-0058
www.kasamayaki.or.jp/

九ちゃんの家を残そうイベント

5/2(土)～5/6(水・祝)
家の保存運動に取り組んでいる方々の、思い出の写真を展示。九ちゃんが好物だったカレーライスも販売します。
場／九ちゃんの家
問／tel 090-2565-8681

笠間骨董我楽多市(かさまこつとうがらくたいち)

5/2(土)～5/5(火・祝) 9:00～17:00
県内外から約40軒の骨董店が軒を連ね、古陶磁器・古美術品・刀剣類・古布・古銭など様々なお宝が所狭しと並べられ、骨董マニアから一般の方まで楽しむことができます。

場／笠間稲荷神社前笹目酒造裏駐車場
問／社団法人 笠間観光協会 tel 0296-72-9222
www.intio.or.jp/kasama/

匠工房・笠間フェア

5/3(日・祝)～5/5(火・祝) 9:00～16:30
クイズラリーやクロー体験などが行われ、楽しく笠間焼に親しむことができます。入館・体験・見学・休憩すべて無料です。
問／茨城県工業技術センター窯業指導所「匠工房・笠間」tel 0296-72-0316
www.kougise.pref.ibaraki.jp/yougyou/

よってらっ祭みてらっ祭

5/3(日)～5/5(火・祝) 10:00～17:00
駅前町内会によるお客様おもてなしイベント。
場／笠間駅前広場
問／稲荷町 tel 0296-72-9635

いちご狩り

5月末まで 9:30～15:30(受付は15:00まで)
料／2月1,300円、3月1,200円、4月1,100円、5月1,000円(3歳以下無料、20名以上割引有り ※団体は要連絡)
南指原観光いちご園
休／月曜(祝日の場合は翌日)
問／笠間クラインガルテン農産物直売所
tel 0296-70-3133
www.city.kasama.lg.jp/garten/ichigo/index.htm
笠間観光いちご園
休／無休 問／笠間みんげい tel 0296-72-9280

假屋崎省吾ディナーショー トーク&デモンストレーション

5/31(日) 受付16:30～、ディナー17:30～
料／12,000円(サービス料込・全席指定)
場／パークスガーデンプレイス
問／パークスガーデンプレイス tel 0296-78-1122
www.pax-garden.jp/

笠間ハンドメイドフェア in 弁天町 第7回 道の市(みちのいち)

6/6(土)・6/7(日) 10:00～17:00(7日は16:00まで)
ものを作り続けている本物の作り手、隠れ名人、自称名人などが集まる展示即売会です。
場／弁天町駅前通り
問／第7回「道の市」笠間ハンドメイドフェア in 弁天町 実行委員会事務局 tel 0296-72-0119
(さくらガス株式会社内 担当：藤枝)
www.michino1.jp/michinoichi/mtop.html

路面喫茶

6/6(土)～6/28(日)の各土・日 9:00～17:00
茨城は日本北限のお茶の産地。陶の小径で笠間産の新茶をお楽しみください。期間中は急須づくり講座(期間中の日曜のみ13:30～)や急須の新作展が開催されます。
場／陶の小径
問／やまさき陶苑 tel 0296-72-6865
www.age.to/komichi/

西茨城100km徒歩の旅ボランティア募集

8/5(水)～8/9(日)に、小学4～6年生が4泊5日で100km歩き、子ども達の「生きる力」を育む事業のボランティアを募集します。募集締切は5/10(日)。
問／笠間青年会議所西茨城100km徒歩の旅実行委員会(大本 tel 090-4092-9796)

GWを満喫する 笠間の楽しみ方ガイド

ゴールデンウィークの笠間は、つつじまつりや陶炎祭(ひまつり)など、各種イベントをはじめ、お楽しみがいっぱい。このガイドを参考に思いっきり楽しんでくださいね！

Step 01



北関東自動車道・笠間西IC。東北自動車道経由で笠間にアクセスする場合はここで下車。国道50号を水戸方面へ進みます。

交通手段を決める

クルマにするか、電車にするか…どちらでも楽しめるのが笠間です。

笠間へ行く交通手段は、現実的に考えるとマイカーか電車になると思います。マイカーの場合は、昨年12月の北関東自動車道の開通により、特に東北道方面からのアクセスが便利になりました。この場合、東北自動車道で栃木都賀JCTより北関東自動車道に入り、笠間西IC下車がベストです。市内をマイカーで観光する際におすすめの方法は、公営駐車場にクルマを停めて、観

【マイカー（高速道路使用）の場合】
いわき方面から：常磐自動車道～水戸IC～国道50号から
東京方面から：常磐自動車道～友部JCT～北関東自動車道～友部IC～国道355号から
埼玉・栃木および福島方面から：東北自動車道～栃木都賀JCT～北関東自動車道～笠間西IC～国道50号から

【電車の場合】
東京方面から：JR常磐線～友部駅下車～観光周遊バス
栃木方面から：JR水戸線(小山方面)～笠間駅下車～観光周遊バス

光周遊バスを利用する方法。詳しくは“Step02”を参考にしてください。電車によるアクセスは、東京方面からはJR常磐線・友部駅下車、また、栃木方面からはJR水戸線・笠間駅下車がおすすめ。駅から先は、地球にやさしく健康的なレンタサイクル（1日800円、会員特典有り）や徒歩、便利な観光周遊バス（1回乗車につき100円）を利用しましょう。

Step 03



つつじまつりが行われる「つつじ公園」は、ちょっとしたハイキングコースのようです。花を愛でながらゆっくりと歩きましょう。

思いっきり楽しむ

欲張りさん大歓迎。自分らしい1日を満喫してくださいね。

ゴールデンウィーク中の笠間のイベントといえば、「笠間つつじまつり」と「笠間の陶炎祭(ひまつり)」がよく知られていますが、笠間の魅力はそれだけではありません。それぞれのイベント会場から目と鼻の先にある、世界中の名作に出会える笠間日動美術館や、陶芸専門の茨城県立陶芸美術館など、美術館巡りも楽しめます。また、自然に恵まれた笠間では、つつじまつり会場近くの佐白山や、JR常磐線・岩間駅の西側に見える愛宕山などで、ハイキングをすることも出来ます。愛宕山頂には人気の宿泊施設、スカイロッジもありますよ。さらに、日本三大稲荷の1つ、笠間稲荷神社周辺では飲食店やお土産店、造り酒屋などが軒を連ね、歩いて散策すると楽しそう。

骨董我楽多市(5/2～5/5)などのイベントも開催され、盛り上がっています。佐白山入口にある坂本九ちゃんが疎開していた家(5/2～5/6にイベント開催)や、映画「武士の一分」の一場面が撮影された笠間城跡などの旧所名跡に足をのぼしてみてもいいかも。お好みの楽しみ方を見つけて、自分らしい1日を満喫してくださいね！



毎年大勢の人が訪れる笠間の陶炎祭(ひまつり)

Step 02



かさま観光周遊バス
【周遊ルート】友部駅北口～ギャラリーロード～工芸の丘／陶芸美術館～日動美術館～笠間稲荷神社～笠間ショッピングセンター～市民体育館～笠間駅～春風萬里荘～やきもの通り～ギャラリーロード～工芸の丘／陶芸美術館～友部駅北口
【利用料】1回100円
【運休日】月曜日（祝日の場合は翌日運休）
※イベント開催中は、渋滞のため、運行ダイヤの乱れが予想されます。ご了承ください。

レンタサイクル
【貸出場所】笠間駅前観光案内所、公営稲荷駐車場
【利用料】2時間：300円（1時間増すごとに100円追加） 1日：800円（笠間ファン倶楽部会員登録の提示で400円）

観光コースを決める

イベントのハシゴはいかが。移動には観光周遊バスがおすすめですよ！

ゴールデンウィーク中、笠間では焼物好きにはたまらない「笠間の陶炎祭(ひまつり)」や、25種類・約8,500株のつつじが咲き誇る「笠間つつじまつり」など、いくつものイベントが開催されて大変賑わいます。せっかくですのでイベント会場をハシゴして、この季節ならではの笠間を満喫しましょう。

各会場への移動は、マイカーで来られる場合、笠間市内の駐車場へクルマを停めて、シャトルバスや観光周遊バスを使った移動をおすすめします。また、電車で来られる場合も、JR常磐線・友部駅とJR水戸線・笠間駅から、シャトルバスや観光周遊バスに乗ることが出来ます。イベント期間中、会場周辺は大変混み合いますので、駐車場へのアクセスに時間がかかることがあります。しかし、バスの場合はそれが無いので、効率よく点在する観光スポットを巡ることが出来ます。また、笠間駅前観光案内所と公営稲荷駐車場からは、レンタサイクルを

利用することも可能です。笠間市内には公営、民営を含めて、いくつかの大型駐車場が点在しますが、おすすめは、このほど整備された「公営稲荷駐車場」。つつじまつりの会場となる、つつじ山に繋がる道に隣接しており、佐白山の登り口（ハイキングコースもあります）の、笠間日動美術館に隣接する場所にあります。しかも、笠間観光の目玉の1つ、笠間稲荷神社へは徒歩約10分と手頃な距離。料金は無料です。ぜひご活用ください。売店（笠間つつじまつり等のイベント開催時に開店）には、笠間市の名産品も揃っています。



笠間観光マップ

●…かさま観光周遊バス／周遊場所
※掲載しているのは一部です。



先に紹介した公営稲荷駐車場のほかにも、いくつかの駐車場が用意されています。また、地図上には書きませんでしたが、笠間稲荷神社周辺には民営の駐車場も点在しています。

笠間稲荷神社のフジも見事です。



笠間はまた、季節によって、いろんな花に出会える街です。ミズバショウにはじまり、サクラ、ツツジ、フジ、シャクナゲ…どの花もうっとりとする美しさです。

問／(社)笠間観光協会 tel 0296-72-9222

花巡りに出掛けましょう

- ミズバショウ（3月中旬～4月下旬）
北山公園（尾瀬・黒羽1,145株）
- サクラ（4月上旬～下旬）
北山公園・公園までの道路（桜のトンネル）
北山公園近くの唯信寺、光明寺、完全寺など（シダレザクラ）
愛宕山（山桜など2,000本）
笠間小前の通り（桜並木）
下市毛八坂神社（シダレザクラ）
佐白山麓公園、笠間市役所笠間支所、ほか
- ツツジ（4月中旬～5月中旬）
笠間つつじ公園（25品種、約8,500株）、北山公園（ヤマツツジなど）
- フジ（5月上旬）笠間稲荷神社（樹齢400年、大藤・八重の藤）
- シャクナゲ（5月上旬～下旬）鳳台院（17,000本）
- クリンソウ（5月上旬～下旬）ほたる池（笠間市上郷・駒場地区）
- アヤメ・ショウブなど（5月中旬～7月中旬）北山公園

	3月	4月	5月	6月
ミズバショウ				
サクラ				
ツツジ				
フジ				
シャクナゲ				
クリンソウ				
ショウブ				

笠間の花暦



17,000本が咲き誇る鳳台院のシャクナゲ。ツツジとはまた違う美しさです。



笠間市上郷の駒場地区にある「ほたる池」では、珍しいクリンソウが見られます。

Made in KASAMA

メイド・イン・笠間で行こう！



牧場に隣接するロジック風のモダンな自宅と、牧場主の安達政弘さん。



肥育する和牛は常時80頭ほど。牛舎や堆肥舎はすべて、家族総出による手作りです。



【その16】常陸牛指定生産者・安達政弘さんの牧場【問い合わせ】電話 0299-45-3719(安達)

環境にやさしく、牛にもやさしく、地域に根ざした牛飼い

笠間市内には、おいしくて良質の常陸牛を肥育している所がいくつかあります。その中から評判の高い、1軒の牧場を訪ねてきました。牧場主は安達政弘さん。牛飼いとしては三代目です。牧場に隣接するロジック風のモダンな自宅、手作りの牛舎。そして何より、あたたかな安達さんの人柄と、優しい顔をした牛たちが印象的でした。

旧岩間町押辺地区、岩間インターの近くに、その牧場はあります。安達さんは東京の大学へ入り、そのままサラリーマン生活20数年を経て、46歳から和牛肥育を開始。今年で10年目になります。牛舎や堆肥舎などは、すべて家族総出による手作

りです。6頭から始まり、現在では常時80頭を肥育するまでになっています。そんな安達さんが特にこだわっているのは「環境にやさしく、牛にもやさしく、地域に根ざした牛飼い」という事です。開始当初から、自然循環型の経営を目標として、地域の協力のもと稲作農家から稲わらをいただき、代わりに牛肥の散布を行う耕畜連携を行っています。そして、安全でおいしい牛肉を生産するために、衛生面や風通しを考えた大型扇風機を設置したり、粗飼料(わら)を多給するなど、牛にできるだけストレスを与えない飼養管理をしています。また、山林に囲まれていて、良質の水(以

前に長寿の水として紹介されました)を供給できることが、大きなメリットになっています。しかし、昨今の景気低迷の影響で枝肉相場下落、導入子牛の相場高、飼料代の高止まりと、厳しい経営状況が続いています。それでも、朝は5時に起きて、エサをやり、手間ひまを惜しまず愛情を込めて育てる牛たちは、とっても可愛くて、やりがいのある仕事に喜びを感じているそうです。「これからは、いろんな付加価値のあるものを作って行きたい。この地域の中で、のんびりと過ごせる憩いの場所、牧場公園のようなものが出来たらいいな」と、今後の夢を話してくれました。

観光推進マネージャー 小沢に訊け！ 第3回

小沢 敦…茨城県初の観光推進マネージャー。大手旅行代理店より笠間市に出向中。

「観光素材を旅行商品にするシステムが必要」

Q. 前回の製油所のことを教えてください。

小沢: 製油所とは、原油を加工・精製して各種の石油製品をつくり出します。つまり、笠間の観光素材を加工して旅行商品にするシステムが必要という事です。

Q. 旅行商品？

小沢: そうです。商品名(キャッチコピー)があって、例えば陶芸や農業等の体験や食事、ガイド、移動手段等がセットされ、お一人様***円、そして何より、笠間ならではの魅力が必要です。

Q. なぜ、必要になったのですか？

小沢: 笠間の観光は二つの要素で分けられます。一つが「焼物、芸術、史跡、自然美」。もう一つが「伝統的祭事、つつじまつり、菊まつり、陶炎祭・・・」等のイベント。年間350万人の方々に来訪いただきましたが、比率は前者2、後者8。この偏重が大問題。イベントが笠間の魅力。前者は他の所に幾らでもあるのが現実です。「笠間にしかない」「笠間だから体験できる」「今の時期だけ」という演出が不足しています。そこを工夫しないと、イベント時以外のお客様は増えません。

Q. 誰が製油所役になるのですか？

小沢: 理想は地元の観光促進役である観光協会です。でも、始めは、笠間の旅行関係事業者に協力してもらう方法を考えています。

Q. 既存事業者にするのはなぜですか？

小沢: 流通機能と技術、販売管理が必要なためです。

Q. こういう形は他でも行っていますか？ 小沢: はい。今後はますます増えるでしょう。幅広い客層からニューツーリズムを求める大きな流れがあり、それに対応する形が「着地型旅行事業」と呼ばれ、事業として成功しています。

Q. 笠間でも成功しますか？ 小沢: させないとし目指す通年滞在型観光地へたどり着きません。もちろん観光事業関係者の理解と協力が必須です。

Q. 成功を期待します。 小沢: 頑張ります！ 間もなく4月です。「さくら・つつじまつり、陶炎祭」が始まります。北関東自動車道の茨城県内開通で、ますますアクセスしやすくなりました。ぜひ皆様お越しください。



観光客が選ぶおすすめショップ



体験もできるガラス工房&ショップ



OTA GLASS STUDIO

住/笠間市下市毛1372-5
問/0296-72-3187
営/9:00~17:00
休/不定休
ota-glass@yd5.so-net.ne.jp
www.014.upp.so-net.ne.jp/OTA-GLASS/otoiawase.html



ビジネス・観光にアクセス抜群



ビジネスホテル ふじぬま

住/笠間市八雲2-1-1
問/0296-77-9111
IN/16:00、OUT/10:00
料/シングル6,300円～
駐車場完備(無料)



自然のままの おいしいお米



蛭の里のお米屋さん

住/笠間市上郷1812
問/0299-45-2493
営/8:00~18:00
休/年中無休(年末年始休み)
www.interq.or.jp/power/ricenter/



ファンファンインタビュー

Shigeru Matsusima
松嶋 繁さん
ふるさと案内人

昭和10年1月生まれ。笠間市下郷在住。岩間中学校で定年退職。現在、笠間市文化財審議委員、郷土史クラブ岩間歴史懇話会所属、「常陸万葉の会」会長。愛宕山麓に老夫婦二人暮らし。趣味は酒を楽しむ、読書、旅行。

万葉の歌で笠間を案内

案内人になって良かったことは、特に、笠間市の歴史・文化の奥深さが分かってきたことです。陶芸美術館の広々とした丘に立つと、山並みに囲まれた景色に感動します。館内の展示、施設も充実して掛け値なしの日本一です。また、稲荷神社ポケットパークで案内することが多いのですが、商店街の人たちが親切でとても気持ちがいい。神社と共に生きる心が、お母さんたちの振る舞いに染み付いています。昨年、「常陸万葉の会」のメンバー30人ほど、同窓生20人ほどを案内して、とても喜ばれました。友部は私が17年間世話になったところです。整備された北山公園から笠間への景観は見事で、絶好の散歩コースです。そして、私が一番好きなのは「ふるさとの愛宕山」です。愛宕山から難台山へのコースは、花の季節、芽吹きするとき、秋の季節、枯



ファンファンビブル

Toshiko Okabe
岡部 登志子さん
きらら館・代表

昭和23年9月生まれ。水戸市出身。お子さんと陶芸教室に行ったのが、笠間焼との出会い。現在、笠間でも人気の「きらら館」の代表として活躍している。

新しいメイド・イン・笠間を

「笠間焼との出会いは、陶芸教室に行き、その体験が楽しくて、のめりこんでしまったこと。趣味で10年くらい陶芸を続けていたけど、どうしても、笠間に窯とアトリエが欲しくて作ってしまった」という、とてもエネルギー感あふれる面を持つ岡部さん。趣味ではじめた陶芸も、ファンが増え、いつのまにかプロになってい

れ葉のとき、四季を通じて美しい。観光「かさま」の今後の課題は、開発と自然保護の調和です。豊かな自然を子孫に引き継ぐ事は私たちの責任です。古代の本、「常陸風土記」に笠間の里が出ています。万葉の歌を朗読しながら案内いたします。お気軽に古典の世界へどうぞ！ 第1水曜13:30~15:30、市民センターいわまつel 0299-45-5395(松嶋)

●きらら館 tel 0296-72-3109



笠間の大好きなところは？

「毎日、水戸から通っていて、笠間に着き車を降りると、空気が違うのが感じられる。自然が豊かで暑さ寒さがはっきりしているところが好きですね」

笠間焼についての印象は？

「焼き物が好きで、全国の窯業地を訪ねましたが、笠間のように多彩で個性的な焼き物を見られるところは他にはありません。ぜひたくさんの方に笠間焼を知ってもらいたいと、東京の自由が丘にも出店しました」とのこと

笠間をPRするにはどうしたらいいか？
「笠間のいい所はたくさんありますが、全部を並べるとどこにでもある観光地になりかねません。誇れるもの、特化させるものがあるって、どこにも負けないもの

を作れば、結果として他にも波及させることができると思うんです。私は今、笠間焼もそのひとつと思っています」
岡部さんの夢は？
「東京に出てみると、茨城では笠間焼は有名と思っていますが、井の中の蛙ということが良くわかります。まだまだ笠間焼は知られていないんです。都市圏からも近いし、全国的にみても、おもしろさ、多彩さはトップクラスにあります。そんな笠間焼をもっと広めていきたいと思っています」

声 ファンファンボイス

～会員の皆様の声、いただきました～

●行ったことはありませんが機関紙を讀んだらすごく興味が沸きました。特に道の市。これからいろんな情報を届けて欲しいです。(東京都/男性)

●ろくろ体験楽しかったです。自分で作った湯のみが札幌の自宅に届くのがとても楽しみです。図書館にもまた行きたいです。(北海道/男性)

●20年前京都から水戸に嫁いでまいりました。初めて笠間の街を歩いたときふるさとに良く似た懐かしさを感じました。それ以来「笠間ファン」です。(茨城県/女性)